

News release

2024年7月29日

協和キリン、PSCI（Pharmaceutical Supply Chain Initiative）に加盟

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、2024年6月付で PSCI（Pharmaceutical Supply Chain Initiative）に加盟したことをお知らせします。



PSCI は 2013 年に米国で設立された非営利組織であり、製薬・ヘルスケア企業のサプライチェーン全体における安全、環境、社会的成果の卓越性の実現をビジョンとしており、現在世界の製薬及びヘルスケア企業 80 社以上が加盟しています。協和キリンは、2030 年に向けたビジョンで「Life-changing な価値の継続的な創出・提供」を掲げています。その実現には、社会の要請に応じた強固なサプライチェーンが不可欠であり、サステナブル調達観点からも取組みを進めています。そこで、いっそうの取組みの推進と、業界全体で課題に対応するため、PSCI に加盟しました。

PSCI が定める「責任あるサプライチェーンマネジメントのための PSCI 原則」では、倫理、人権、健康と安全、環境、ガバナンスと管理システムの 5 領域において、サプライチェーンを構成する全ての企業が遵守する行動が期待されます。全ての加盟企業はこの原則を支持するとともに、主要なサプライヤーに対してもこの原則に基づく取組みを促していきます。また、加盟企業は、最新の動向やベストプラクティスを学び、業界全体として効率的な監査体制を構築していきます。協和キリングroupは協和キリングroup調達基本方針のもと、サプライヤーとの間に長期的な信頼関係を築きながら共に企業としての社会的責任を果たすため、関連するすべての法令やルールを遵守し、公平・公正で透明な調達活動に努めています。今後も取組みを継続するとともに、PSCI の原則に基づき、責任あるバリューチェーンの実践を行います^{注1}。また、サプライチェーン全体の連携をより一層強め、すべてのサプライヤーと共にサステナブル調達を積極的に推進していきます。これらの活動を通じて全てのステークホルダーと良好な関係を築き、新たな価値の創出の実現を目指します。

協和キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

注1 協和キリンのサステナブル調達に関する取組み

https://www.kyowakirin.co.jp/sustainability/trust/quality_supply/procurement/index.html